

# 昭和大学漢方医学センター活動報告

## 講座の概要

昭和大学漢方医学センターは 2006 年に新設された講座で，昭和大学医学部第一生理学教室と連携を図りながら，臨床・Faculty Development・学生教育・基礎医学研究・東洋医学研究会の開催などの活動を行っている．

昭和大学医学部第一生理学教室は，昭和 46 年に針麻酔が中国で発表された翌年より針麻酔誘起の機序の解明と動物催眠誘起の機序との異同性について研究を開始し，「針麻酔の鎮痛に対する神経-体液性物質の関与」「下行性痛覚抑制機構」「針鎮痛におけるオピオイドレセプターを介する伝達機序」など針鎮痛のメカニズムを生理学的側面より解明してきた．

現在は，統合医学・統合医療を生理学的視点から解明することを目指し，漢方薬および鍼灸刺激のおよぼす免疫系・血液流動性への影響，ストレスのおよぼす血液流動性・活性酸素への影響，痛みと免疫の関連，磁気の生体機能変調などについて研究が進められている．

## 組織構成

主任教授(センター長)	久光 正
客員教授	Steven. KH. Aung (アルバータ大学，家庭医学科教授， カナダ鍼灸師資格試験員)
	石野 尚吾
	佐藤 孝雄
准教授	郭 試瑜
講師	砂川 正隆
兼任講師	村居 眞琴
	岡田 まゆみ
	佐原 正明
	山本 竜隆
	小野 賢二郎
	相馬 利光
	幸田 るみ子
兼任講師	浅野 和仁
助教	石川 慎太郎
	高 虹
研究補助員	右近 美恵子
大学院生	前川 勝彦
	西迫 尚
	坂上 聡志
	時田 江里香
	鈴木 昌
	竹本 真理子
	齊藤 悠
	谷川 博人
	櫻尾 明彦
	落合 康雄
	岩波 弘明
	小川 悠史

	池谷 洋一	久保 哲也
	磯崎 雄一	
特別研究生	本間 亜矢子	木暮 守宏
	越石 直巳	草柳 肇
	池本 英志	久光 直子
	原 美智子	
普通研究生	安藤 幸彦	菱田 不美
	佐藤 三千雄	中村 明央
	荒井 強	吉田 篤正
	楠本 盛一	田村 敏則
	黄 維蓉	日下 史章
	花川 一郎	成田 和広
	堀川 浩之	朱 慧敏
	梅 建	中野 雅之
	仲里 誠毅	虞 穎
	高橋 一衛	方 劍喬
	劉 延慶	遠藤 真澄
	鮫島 達夫	牛尾 房雄
	中熊 尊士	根本 浩一郎
	松橋 明宏	石野 徳子
	許 爽	矯 勇軼
	堀部 有三	江黒 剛
	蔣 星紅	大下 優介
	内藤 美智子	難波 義知
	藤井 恵悟	タインライン
	渡辺 実	田中 宏典
	木村 隆信	海野 久枝
	笹川 睦	蔵本 昇
	樋口 毅史	海老原 為博
	海老原 加代子	松本美由季
	北野 仁	安斎 勉
	岡 潔	岡 興志子
	藤原 博士	與儀 美由紀
	與儀 寶男	村田 孝男
	麻生 太行	秋澤 孝則
	大森 隆史	朝比奈 茂
	須永 美歌子	

## 診療活動

内分泌・代謝・循環器内科の漢方医学センターとして開設された 石野尚吾・櫻尾明彦(毎週火曜日)，幸田るみ子(毎週水曜日)，堀部有三(隔週木曜日)らを中心に東洋医学的な診察と漢方エキス剤の処方による漢方治療を行っている．現在は，外来の患者に対しての診療に限られるが，今後は他科との連携を図りつつ，活動の場を広げていきたいと考えている．

発表

- 1) 久光 正, ラットのコラーゲン関節炎に対する鍼灸の効果とその機序 コラーゲン関節炎 (CIA)マウスに対する灸の効果:灸の用量と経穴の違いによる影響(日韓中シンポジウムー鍼の科学的根拠ー), 第 85 回日本生理学会大会 (東京,2008,3)
- 2) 久光 正・郭 試瑜・樫尾明彦・他 1 名, 疼痛刺激による脳・脊髄内 c-fos の発現に対する morphine および meloxicam の作用, 第 85 回日本生理学会大会 (東京,2008,3)
- 3) 佐藤孝雄・松橋明宏・堀川浩之・朝比奈茂・久光 正, ストレッチが運動非負荷ヒラメ筋・筋硬度に与える影響, 第 85 回日本生理学会大会 (東京,2008,3)
- 4) 郭 試瑜・単 立冬・久光 正・他 1 名, マイクロアレイ法によるラット電気鍼鎮痛作用の個体差についての研究, 第 85 回日本生理学会大会 (東京,2008,3)
- 5) 石川慎太郎・佐藤孝雄・須永美歌子・久光 正, コンドロイチン硫酸の血液流動性に及ぼす影響, 第 85 回日本生理学会大会 (東京,2008,3)
- 6) 石川貴子・石川慎太郎・佐藤孝雄・安斎 勉・久光 正, 磁気刺激による血液流動性の亢進と血小板凝集の低下, 第 85 回日本生理学会大会 (東京,2008,3)
- 7) 前田 悠・王 興栄・浅野和仁・久光 正, リセドロネートの活性酸素産生抑制作用 アジュバント関節炎ラットを用いての検討, 第 85 回日本生理学会大会 (東京,2008,3)
- 8) 樫尾明彦・郭 試瑜・吉田篤正・久光 正, ラット大腸運動に対するモルヒネの影響: in vivo と in vitro での比較, 第 85 回日本生理学会大会 (東京,2008,3)
- 9) 池本英志・木暮守宏・越石直巳・岡田まゆみ・久光 正, コラーゲン関節炎(CIA)マウスに対する灸の効果:灸の用量と経穴の違いによる影響, 第 85 回日本生理学会大会 (東京,2008,3)
- 10) 越石直巳・木暮守宏・池本英志・岡田まゆみ・北野 仁・久光 正, コラーゲン関節炎マウスの脾臓リンパ球分画に与える灸の効果, 第 85 回日本生理学会大会 (東京,2008,3)
- 11) 久光直子・タインライン・郭 試瑜・石川慎太郎・久光 正, Small Island Stress 負荷がラットの血液流動性および活性酸素代謝産物量に与える影響, 第 85 回日本生理学会大会 (東京,2008,3)
- 12) 岡田まゆみ・角田俊信・久光 正・藤原治子・何 珮琳・山瀬裕美, 難治性疼痛にガバペンチンが奏功した 2 例, 日本ペインクリニック学会第 42 回大会2008.7.18-20(福岡)
- 13) 岡田まゆみ・久光 正, 運動様式および運動後の水分補給が血液流動性に与える影響, 第 30 回日本疼痛学会, 2008.7.19-20 (福岡)
- 14) Okada M・Sumida T・Hisamitsu T, A design a simple slide rules is useful for opioid rotations, 12th World Congress on Pain, 2008.8-17-22 (Glasgow)
- 15) Ishikawa S・Hisamitsu T・Sato S・Okada M・Hisamitsu N, The acupuncture stimulation promotes blood fluidity by the inhibition of platelet adhesion with adrenergic mechanism, 12th World Congress on Pain, 2008.8-17-22 (Glasgow)
- 16) 樫尾明彦・郭 試瑜・浅田初枝・久光 正, ラット大腸運動に対するモルヒネの影響: in vivo と in vitro での比較, 第 55 回昭和医学会総会 2008.11.8 (東京)
- 17) 前田 悠・王 興栄・浅野和仁・久光 正, リセドロネートの活性酸素抑制作用-アジュバント関節炎ラットを用いて-, 第 55 回昭和医学会総会 2008.11.8 (東京)
- 18) 亀山敦史・王 宝禮・野呂明夫・市村 葉・滝 邦高・砂川正隆・戸田一雄・平井義人・高橋一祐, わが国の医・歯・薬学部における東洋医学教育-第 1 報 実施状況とカリキュラム中での位置づけ-, 第 26 回日本歯科東洋医学会学術大会 2008.11.29-30 (東京)
- 19) 亀山敦史・王 宝禮・野呂明夫・市村 葉・滝 邦高・砂川正隆・戸田一雄・平井義人・高橋一祐, わが国の医・歯・薬学部における東洋医学教育-第 2 報 教育と臨床の現状からみた今後の展望-, 第 26 回日本歯科東洋医学会学術大会 2008.11.29-30 (東京)
- 20) 上田恵理子・福岡博史・小山悠子・福岡 明・砂川正隆・野呂明夫・亀山敦史, 満足度の高いインプラント治療のための統合医療(第 2 報), 第 26 回日本歯科東洋医学会学術大会 2008.11.29-30 (東京)

原著

- 1) 亀山敦史・王 宝禮・野呂明夫・市村 葉・滝 邦高・砂川正隆・戸田一雄・平井義人・高橋一祐, わが国の医・歯・薬学部における東洋医学教育-第 1 報 実施状況とカリキュラム中での位置づけ-, 日本歯科東洋医学会誌 27(1・2), 15-22, 2008.9
- 2) 須永美歌子・石川慎太郎・松田貴子・樫尾明彦・佐藤孝雄・久光 正, 運動様式および運動後の水分補給が血液流動性に与える影響, 昭和医

会誌 68(2),80-87, 2008.4

#### 総説

- 1) 久光 正, 痛みのメカニズムとそのケア, 心身健康科学 4 巻 1 号, 1-6, 2008.02

#### 講演

- 1) 久光 正, ストレスと免疫 - 免疫と鍼灸 -, 日本鍼灸師会/東京都鍼灸師会, 2008.4.27 (東京)
- 2) 石野 尚吾, WHO 東アジア伝統医学の標準化と日本の対応, 日本東洋医学会 第 59 回学術総会, 2008.6.7 (仙台)
- 3) 石川 慎太郎, 鍼灸作用機序の解明, 第 7 回全日本鍼灸マッサージ師会, 2008.10.11 (千葉)
- 4) 石野 尚吾, 東洋医学会の過去、現在、今後の取り組み, 川崎北部エリア漢方フォーラム, 2008.11.22 (川崎)
- 4) 石野 尚吾, 漢方医学の基礎, 2008.4.8
- 5) 石野 尚吾, 漢方の診察法, 2008.5.13
- 6) 鳥居塚 和生, 主な漢方処方と生薬, 2008.6.17
- 7) 石野 尚吾, 鍼灸治療の実際, 2008.7.8
- 8) 地野 充時, 症例解説による「皮膚疾患と漢方」, 2008.9.26
- 9) 堀部 有三, 症例解説による「神経・筋疾患と漢方」, 2008.10.23
- 10) 幸田 るみ子, 症例解説による「心身症と漢方」, 2008.11.18
- 11) 木村 武彦, 症例解説による「婦人科疾患と漢方」, 2008.12.2

#### 留学生の動向

- 1) 張 躍進: 中国江蘇省興化衛生学校生理学教室 助教授
- 2) 朱 奇 : 中国蘇州大学医学部神経生物学研究室博士課程学生
- 3) 高 玉振: 中国蘇州大学医学部法医学教室講師
- 4) 草柳 肇: ローマ大学, トルベルガー校神経内科. 第一生理学教室で鍼灸研究に携わる.
- 5) 単 立冬: 中国蘇州大学医学部神経生物学研究室講師
- 6) 時 静華: 中国包頭医学院医学部生理学教室助教
- 7) 徐 乃玉: 中国蘇州大学薬学部薬理学教室講師

#### 機関としての諸活動

##### 東洋医学研究会の開催

近年の東洋医学への関心・ニーズに応えるべく、学内・外の臨床医および学生の研修の場として発足し、現在に至る。平成 20 年は以下の講座が開催された。

<http://www10.showa-u.ac.jp/~oriental/>

- 1) 木村 武彦, 更年期障害, 2008.1.22
- 2) 石野 尚吾, 医師・薬剤師に役立つ鍼灸治療, 2008.2.12
- 3) 各科からの診療・研究報告, 2008.3.18  
白土 なほ子, 月経痛  
認知症周辺症状に対して抑肝散が有効であった Lewy 小体型認知症の一例, 山田 浩樹  
癌患者に対する補剤の使用経験, 松原 猛人